

提案書の追加事項（その１）

<提案書作成の目的>

この提案書は、在宅介護を必要とする高齢者や障がい者と接する機会が頻回で時間も長い介護職の皆様感染症に対する正しい知識を持っていただき、介護者やその事業所、利用者様やご家族を感染症から守ることを目的として作成しました。また、この提案書の内容は、感染症まん延期という期間限定のものです。

<一人で悩まないように>

介護職の皆様が安心して職責を果たすためにはまず自分を守らなければなりません。提案書にはあくまで基本的な事項が書かれています。しかしながら訪問の現場ごとに状況は違います。不安があれば、一人で悩まず「報告」・「連絡」・「相談」を思い出してください。「こぶしネット」は患者様・利用者様の在宅生活を見守っていく仲間たちの集まりです。在宅医療・介護に関わる全ての職種がこの新型コロナウイルス禍に立ち向かおうではありませんか。

<相談に対して>

事前にアンケートをとった結果、多くの相談が寄せられました。全てに対応は困難なのですが、一つだけ具体的に対策を書きます。利用者さんにマスクの着用を要請するという件ですが、このことは感染対策の中でも比較的重要な部分です。ところが利用者さんの中には、マスク着用に非協力的な人も多いと聞いています。別紙として利用者さんに伝えるためのイラスト入りの資料を作りました。また、ヘルパー以外の訪問看護師さんやケアマネさんを通じて、利用者様に協力の必要性を伝えていきたいとも考えています。

これは一つの例ですが、多職種連携がうまく機能すれば、できることは他にもあると感じます。

どうか、みんなで乗り越えられますように！

2020.5.15

在宅医療連携を考える会「こぶしネット」